

気仙沼管内の宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

完熟の甘さ「気仙沼いちご」(気仙沼地方振興事務所農業振興部・地方振興部)

気仙沼市階上地区で「気仙沼いちご」を栽培されている三浦拓也さん。

三浦さんは、会社員生活を経て2010年にハウスを完成させ、いちご栽培を本格的にスタートさせました。しかし、翌年の東日本大震災によりハウスは全て流出。やめてしまう農家さんもいましたが、三浦さんは「収穫を一度も出来ていなかったで、やめるつもりはなかった。何年かかってもちごを収穫しよう！」と決意。

今では、喫茶マンボさんの「イチゴババロア」や和菓子店いさみやさんの「いちご大福」にも使用されており、気仙沼の人気スイーツに使用されるなど地域から愛される「気仙沼いちご」となっています。

「気仙沼いちご」は完熟に近い状態で収穫されるため「甘さ」が特徴です。

地産地消だからこそ味わえる「気仙沼いちご」をぜひ食べてみてください☺



いちご農家「三浦拓也」さん



ハウスに実るいちご



収穫されたいちご

気仙沼メンマ、お一ついかがですか？(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

令和3年度に製造した「気仙沼産メンマ」の試験販売が市内の農産物直売所「みのり市」で昨年12月に行われました。

1パック(100g)250円で在庫がなくなるまでの限定販売にしたところ、瞬く間に売り切れとなりました。

事前に行った市内の飲食店やラーメン店からのアンケートでも絶品との回答をいただいていたが、生産量の増加が課題となっています。今後はこの取組を市内全域に普及拡大させることで増産体制を構築していきたいと考えています。

当事務所ホームページではメンマの製造レシピを公開していますので、興味のある方は是非ご覧ください♪



1パックを100gで販売



盛り付けしたメンマ